

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 013	提案機関名 湘南家畜保健衛生所
要望問題名 都市型家畜ふん堆肥化施設の開発	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 近年、市民農園や家庭菜園の増加等に伴い、耕種農家以外の一般県民にも堆肥の需要が増してきている。県内の畜産経営は都市近郊で行っている場合が多く、周辺住民と協調しながら経営継続していくことが重要となっている。このような状況のなか、良質な堆肥を近隣の住民に供給するため、臭気の発生にも配慮した都市型の堆肥化施設を開発、普及していく必要がある。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター畜産技術所	担当部所	企画経営担当
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) バイオフィルターによる畜産臭気の脱臭に関する試験 (H7-10) 牛ふんの低コスト消臭型堆肥化ハウス開発研究 (H12-16)		
対応の内容等	当所では、平成7～10年度にバイオフィルターによる畜産臭気の脱臭に関する試験、平成10年度にオゾンによる畜産臭気の脱臭試験、平成12～16年度に牛ふんの低コスト消臭型堆肥化ハウス開発研究を行い、堆肥化施設における脱臭技術を報告しました。 ご要望の臭気発生に配慮した堆肥化施設の開発については、当所では装置の開発に向けた設計や試作が難しく、現状では当所に新たな堆肥化施設を設置し実証試験を実施することは困難でご要望にこたえることができません。 一方、当所では、堆肥化の際に発生する臭気を減らす研究として、活性汚泥を用いた畜舎汚水と臭気の同時処理技術の開発（平成15～17年度）や地域資源等を活用した抑臭堆肥化技術の開発（平成18～19年度）を行ってきましたので、参考にしてください。 堆肥化施設の臭気対策は、施設の規模や処理方式など畜産農家の処理状況にあわせた取り組みが必要なことから、具体事例について相談をお受けするとともに技術指導いたします。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			